

令和7年7月16日

受検番号 22220002

立花 峻 殿

一般社団法人 日本建設機械施工協会  
試験部  
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8  
TEL:03-3433-1575 FAX:03-3433-0401

令和7年度 1・2級建設機械施工管理第二次検定(実技)試験の実施について

### < 実 施 案 内 >

あなたの第二次検定(実技)試験の日時・試験会場等は、下記のとおりとなりましたので、お知らせいたします。

試験は雨天でも実施しますが、台風等により日程を変更する場合は当協会のホームページに掲載いたしますので、気象情報に注意のうえ、適宜確認してください。

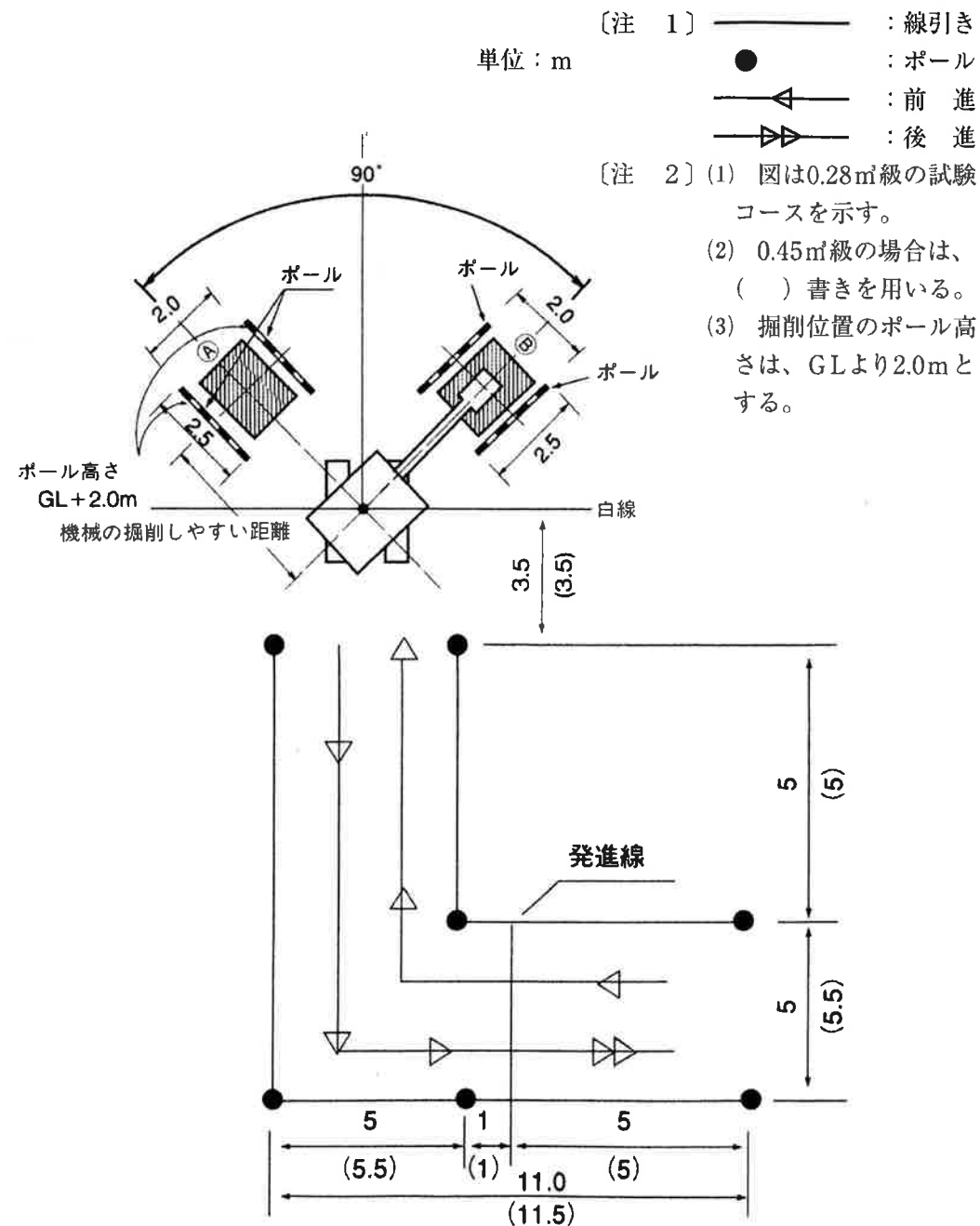
試験地や試験日時の変更はできません。ただし、転居をとまなう転勤等による試験地の変更または受検の取り消しを希望される場合は、令和7年7月25日(金)までに電話連絡(03-3433-1575：平日9:30～12:00 及び 13:00～17:30)のうえ、所定のお手続きをお願いいたします。取消しをされた方へは、事務手数料を差し引いたうえで受検手数料を10月中に現金書留で返還します。

なお、会場の都合により試験地の変更ができないこともあります。ご承知おきください。

#### 記

1. 試 験 地 : 広島
2. 試験(集合)日時 : 令和7年8月26日(火) 8時30分 第2種 油圧ショベル  
※受付後、試験内容について説明があります。  
※ご自身の試験終了後は流れ解散となります。
3. 試験会場名 : 土師ダム上流  
広島県安芸高田市八千代町土師(土師ダムスポーツランドサッカー場横広場)  
TEL:090-8710-9413 ※試験当日のみ
4. 試験使用機械の : 第2種 油圧ショベル コマツ PC78US (0.28 m<sup>3</sup>)  
機種規格  
※機械は、同クラスのものに変更することがあります。
5. 当日の持ち物等 :  
①受検票  
②試験当日は、実際に建設機械の運転操作をしますので、ヘルメット、作業服、安全靴(スニーカータイプ可)を用意してください。  
③昼食は各自でご用意ください(必要な方のみ)。
6. 会場までの案内図 : 裏面をご覧ください(駐車場はあります)。

〔１〕試験コース（バックホウ、バケット山積容量  $0.28\text{m}^3 \sim 0.45\text{m}^3$  級）



### 1. 開始前及び終了後の車両の状態

- ① 車両は、指定の発進位置（車庫内）のコースの中央に起動輪を後にし、ブームの方向を進行方向に一致させた状態で駐車させておく。
- ② アームをほぼ垂直にし、バケットの底部を接地させておく。
- ③ 各部の状態は、次のとおりとする。
  - (a) エンジン は、停止。
  - (b) 変速レバーは中立、ロックレバーは降車位置。

試験 開始＝試験監督者の合図があったとき（ただし、計時開始は受検者が運転席に着席し、エンジンを始動したときとする）。

終了=車両が発進線の指定位置（車庫内）にもどり、下車した受検者の両足が着地したとき。

作業 開始＝指定の掘削場所に到着し、位置決めが終わったとき。

終了=2回目の排土が終わったとき（バケット排土完了のとき。）

### 3-1 基本動作試験

- ① 点検確認

合図により車体を一周し、足回り、パケット装置の目視点検を行う。運転席に着席後シートベルトを装着し、エンジンを始動後、計器の指示確認、作業装置を数回操作して作動状態を確認、各部の異常の有無、故障の発見に努める。周囲の安全を確認する。

- ② 発進、右方向変換

走行姿勢をとり、約1 m前進、大きく右操向、約6 m前進、作業位置に入る。

- ### ③ 作業終了後の回送

掘削、旋回、排土終了後、上部旋回体を旋回 2 回目の排土が右側であれば右旋回、左側であれば左旋回し起動輪を前方にして回送、発進線近くで再び上部旋回体を左旋回し、起動輪を後にして発進線の指定位置（車庫内）に駐車して下車する。

### 3-2 作業試験

試験監督者が指示する箇所を掘削し、ポール上空を通過して 90° 旋回し、指定箇所にしき均しながら排土する。(排土高さは、バケット刃先が地上から約 50cm とする。) 掘削・排土回数は 2 回とする。

2回の掘削土量（バケット充填量）は可能な限り多くする。

### 3-3 総合評価

試験に要した時間、安全、環境、出来形、運転操作、態度並びに周囲及び機械に対する注意力等を総合的に評価する。

運転時間が 12 分になると中止命令をかけられて試験が中止になる。